作成日 2022 年 6 月 8 日

大阪鉄道病院

レジメン名

DLd療法(sc. 1-2サイクル目)

対象疾患

多発性骨髄腫

ChemoNavi 治療内容 day1、8、15、22 day2, 9, 16, ★DLd療法(sc, 1-2サイクル目) 投与 ★最大2サイクル 投与量 投与日 サイクル数 薬品名(成分名) 内服 内服 ダラキューロ(ダラツムマブ) 1800mg/body day1, 8, 15, 22 レナデックス レナデックス レブラミド(レナリドマイド) 分1朝 ** 分1朝 25mg/body dav1~21 総投与時間 皮下注射 内服 レナデックス(デキサメタゾン)* 20mg/body day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23 レスタミンコーワ レブラミド 3 錠 血管外漏出リス ダラキューロ(ダラツムマブ): *75歳以上又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可 アセトアミノフェン 500 mg 分1朝 ク 不明 モンテルカスト 1 錠 分1朝 ** * ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む * * レナデックス、レスタミンコー ワ、アセトアミノフェン、モンテル 投与スケジュール カストはダラキューロ投与1時間 皮下注射 前に内服する。 ★DLd療法(sc, 1-2サイクル目) ダラキューロ 1800mg 1 2 ... 8 9 ... 15 16 ... 21 22 23 24 25 26 27 28 ・ダラキューロは使用する30分前 腹部に皮下注 ダラキューロ ● に冷蔵庫から取り出し、15-30℃ に戻した後に使用する。 内服 レナデックス* ● ● ● ● レブラミド ・翼状針使用のため1瓶全量(約 分1朝 16mL)を抜き取る。 投与時の ダラキューロは注射針の目詰ま day3-7, 10-14, 17-21 day23 注意事項 りを避けるため、使用直前に皮 下注針をシリンジに取り付ける。 内服 内服 ・ダラキューロは調製後、4時間 レブラミド レナデックス 以内に使用する。 分1朝 分1朝 ・臍から左又は右に約7.5cmの 腹部皮下に、約3-5分かけて投 与する。 ・同一部位への反復注射は行わ ないこと。 |ダラキューロ投与前に不規則 抗体のスクリーニングを含め 備考欄 た一般的な輸血前検査を実 施すること。

登録番号 335 作成日 2022 年 6 月 8 日

大阪鉄道病院

レジメン名

DLd療法(sc, 3-6サイクル目) 対象疾患

多発性骨髄腫

DLO療法(SC, 3=0リイグル目) N家疾患	3	光注有腿腥		
ChemoNavi			治療内容	
★DLd療法(sc, 3-6サイクル目) 薬品名(成分名) 投与量 投与日	投与 サイクル数	★最大4サイクル	day1、15 内服 レナデックス 錠	day2, 8, 9, 16, 内服 レナデックス 錠
レブラミド(レナリドマイド) 25mg/body day1~21 レナデックス(デキサメタゾン)* 20mg/body day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23	総投与時間	皮下注射・内服	分1朝 **	分1朝
* 75歳以上又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可	血管外漏出リスク	ダラキューロ(ダラツムマブ): 不明	レスタミンコーワ 3 錠 アセトアミノフェン 500 mg モンテルカスト 1 錠	レブラミド 錠 分 1 朝
* ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む 投与スケジュール	- - 投与時の 注意事項	**レナデックス、レスタミンコーワ、アセトアミノフェン、モンテルカストはダラキューロ投与1時間前に内服する。 ・ダラキューロは使用する30分前に冷蔵庫から取り出し、15-30℃に戻した後に使用する。 ・翼状針使用のため1瓶全量(約16mL)を抜き取る。 ・ダラキューロは注射針の目詰まりを避けるため、使用直前に皮下注針をシリンジに取り付ける。 ・ダラキューロは調製後、4時間以内に使用する。 ・婚から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3-5分かけて投与する。 ・同一部位への反復注射は行わないこと。	皮下注射 ダラキューロ 1800mg 腹部に皮下注 内服 レブラミド 分 1 朝 内服 レブラミド	day 22, 23 内服 レナデックス 分 1 朝
	備考欄	ダラキューロ投与前に不規則 抗体のスクリーニングを含め た一般的な輸血前検査を実 施すること。		

作成日 2022 年 6 月 8 日

大阪鉄道病院

レジメン名

DLd療法(sc, 7サイクル目以降)

対象疾患

多発性骨髄腫

ChemoNavi			治療内容	
★DLd療法(sc, 7サイクル目以降)	投与		day1	day2, 8, 9, 15, 16,
薬品名(成分名) 投与量 投与日 ダラキューロ(ダラツムマブ) 1800mg/body day1	サイクル数	★PDまで	内服 レナデックス 錠	内服 レナデックス 錠
レブラミド(レナリドマイド) 25mg/body day1~21 レナデックス(デキサメタゾン)* 20mg/body day1,2,8,9, 15, 16, 22, 23	総投与時間	皮下注射•内服	分1朝 **	分1朝
* 75歳超える又は過小体重(BMI 18.5kg/m2未満)の患者はレナデックスを週20mgへの減量可	血管外漏出リス ク	ダラキューロ(ダラツムマブ): 不明	レスタミンコーワ 3 錠 r セトアミノフェン $500 \frac{mg}{E}$ モンテルカスト $1 \frac{1}{2}$	レブラミド 分 1 朝
*ダラキューロ配合皮下注1瓶15mL中にダラツムマブ1800mg含む			分1朝 **	
投与スケジュール ★DLd療法(sc, 7サイクル目以降)	投与時の 注意事項	**レナデックス、レスタミンコーワ、アセトアミノフェン、モンテルカストはダラキューロ投与1時間前に内服する。 ・ダラキューロは使用する30分前に冷蔵庫から取り出し、15-30℃に戻した後に使用する。 ・翼状針使用のため1瓶全量(約16mL)を抜き取る。 ・ダラキューロは注射針の目詰まりを避けるため、使用直前に皮下注針をシリンジに取り付ける。 ・ダラキューロは調製後、4時間以内に使用する。	皮下注射 ダラキューロ 1800mg 腹部に皮下注 内服 レブラミド 錠 分 1 朝 day3-7, 10-14, 17-21 内服 レブラミド 錠	day 22, 23 内服 レナデックス
		・臍から左又は右に約7.5cmの腹部皮下に、約3-5分かけて投与する。 ・同一部位への反復注射は行わないこと。 ダラキューロ投与前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施すること。	分 1 朝)J 1+J